



# 関西広域連合プラスチック対策検討会 における取組みについて

2020年6月24日

関西広域連合プラスチック対策検討会事務局

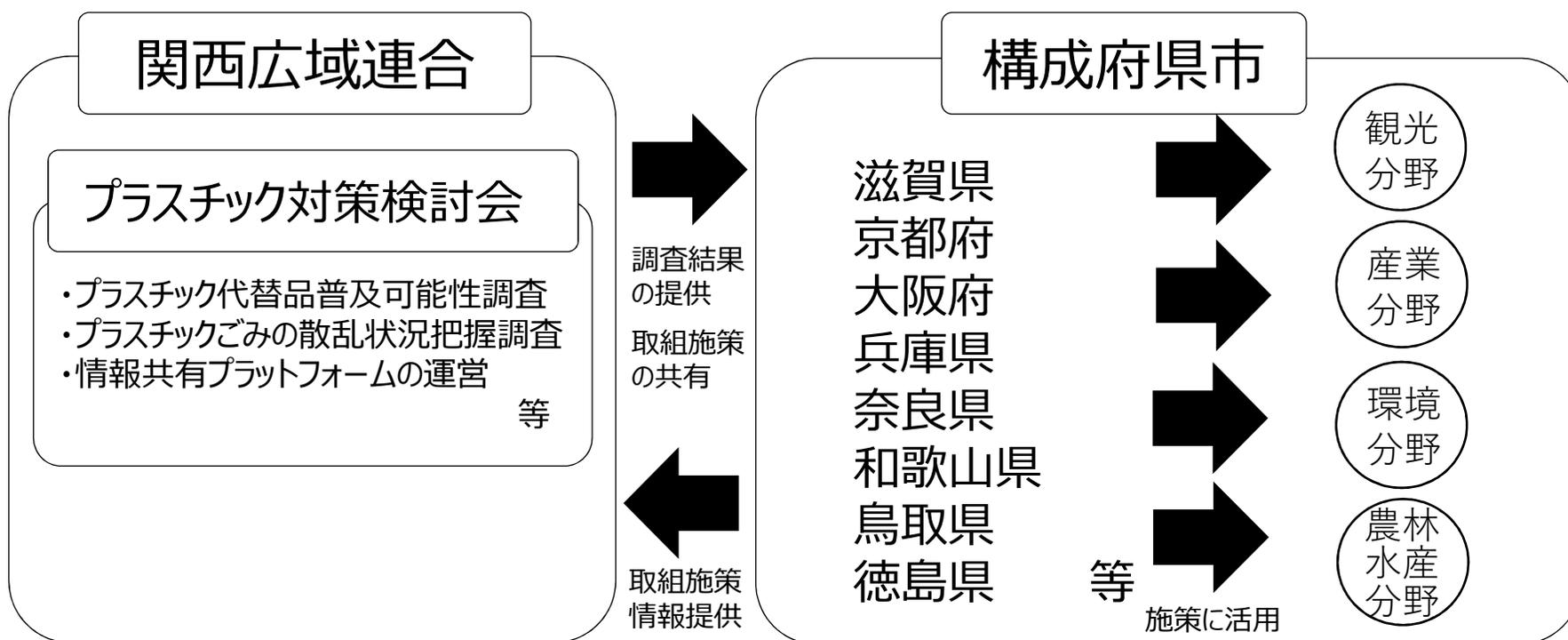


# 関西広域連合プラスチック対策検討会の位置付け

○社会問題となっているプラスチックごみについて、関西が一体となり  
取組みを進めるため検討体制の整備が必要

⇒ R2.3 プラスチック対策検討会 設置

○プラスチック対策検討会の成果は、構成府県市の関連部局の施策  
に活用し、部局横断的にプラスチック対策を推進



※プラスチック対策検討会の成果はプラットフォーム等で情報共有

# プラスチック対策検討会における取組み①

## ①発生抑制：プラスチック代替品の普及可能性調査

### <ねらい>

海洋プラスチックごみの大きな発生源である使い捨てプラスチックの、プラスチック以外の素材・生分解性素材・バイオマス活用素材への代替、及び資源循環システムについて、研究・製品開発・普及・循環システムの実態と課題を調査したうえで、概ね**2030**年頃までの期間を想定して地域におけるイノベーションの普及促進を図るために必要と考えられる技術開発・普及・システム改善に関する今後の実現見通しや、取組みの提案を得ることにより、今後の地域施策の戦略と施策内容の検討に資する。

また、普及のうえで課題の多い用途について、代替プラ製品の社会受容性向上に向け、消費者ニーズ・意識と対応策を把握検討するためのモデル事業を行う。

### <調査内容>

- ① 使い捨てプラスチック製品の分類と、地域における消費・資源循環の実態について関連情報を整理する。
- ② ①の使い捨てプラスチック製品の、代替の技術開発や製品開発・普及の実態と課題、実現見通しの調査（研究者・機関、業界団体、開発企業、有識者へのヒアリングまたは資料調査。）
- ③ 資源循環システムの実態と課題（循環率と質の向上、代替素材普及に伴う新たな課題等）の調査（業界、関係企業、有識者ヒアリング）
- ④ 技術確立・普及、システム改善に向けた取組みの提案（有識者ヒアリング）
- ⑤ 普及のうえで課題の多い用途（使い捨てプラスチック製品）について、社会受容性向上のための消費者ニーズ・意識と対応策を把握検討するためのモデル事業を行う。試作品の生産と消費者への販売供給について補助を行うとともに、各種調査を行う。

### 【調査スケジュール（予定）】

1年目 基礎情報・課題・方向性の整理	2年目 ニーズ調査・モデル事業検討	3年目 モデル事業・情報集のとりまとめ
<ul style="list-style-type: none"><li>● 使い捨てプラ製品の消費・資源循環の実態把握</li><li>● プラ代替品の技術開発動向や普及上の課題整理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 代替素材製品の社会受容性向上・消費者ニーズや課題の整理（有識者・企業・業界団体ヒアリング）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業者・自治体が使用可能な情報集のとりまとめ</li></ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">社会受容性向上モデル事業の実施 (有識者検討会にて、代替品の技術確立・普及・システム改善に向けた施策関与の検討)</div>		

# プラスチック対策検討会における取組み②

## ②発生源対策：プラスチックごみ散乱状況の把握調査

### <ねらい>

海洋プラスチックごみの原因となる陸上の散乱ごみの実態に関する情報を集約整理し、より正確かつ面的に状況把握するための手法を整理し、地域の取組を促進する施策の検討や、地域の取組の評価に活用する方法について提案する。ごみ散乱の情報集約と状況推計の手法、及びそれを施策の検討実施に活用する方策についてマニュアルとしてとりまとめ、共有する。

### <調査内容>

- ①陸上（道路及び河川等水際の公共空間）のプラスチックごみの実態に関する情報を集約整理する。
- ②陸上のプラスチックごみ散乱への影響要因と、その影響要因を示す地域データ項目、道路管理状況に関する情報項目について整理し、面的散乱状況の集約と、状況推計モデル案を構築する。
  - 地域データ項目の例：人・車の交通量、用途地域、公共交通、人口・事業所密度、業態別店舗・集客施設・自販機の分布、道路側溝・水路・河川との距離 等
  - 道路管理状況の情報例：道路清掃頻度、道路構造（歩道・緑地の有無）等
  - より広い地域特性情報：地域経済分析システムRESAS 等
- ③関西エリアの複数の地域（例：中心市街、観光地等）を選定し、散乱状況の実測、影響要因に係る地域データや道路管理情報を収集し、モデルを適用して実測と比較評価する。散乱状況の実測にあたっては、各地域で行われるごみ拾いや清掃業務との連携を検討する。
- ④関西エリア内の自治体から適用モデル地域を公募し、当該地域におけるモデルの適用、散乱状況の可視化、対策の検討や評価への活用、改善が望まれる事項等について情報を集約する。
- ⑤集約した情報をもとにさらにモデルを改善し、実態把握と対策検討評価手法としてマニュアルを作成する。

### 【調査スケジュール（予定）】

